

平成27年12月18日

日本生命保険相互会社

中学生・高校生向け“出張・受入授業”の「第6回キャリア教育アワード 優秀賞」受賞
および JTBコーポレートセールスとの共同プログラムについて

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、経済産業省より「第6回キャリア教育アワード 優秀賞」を受賞しました。

当社は「次世代支援」として、「中学生・高校生向けプログラム～将来について考えよう～」に取り組んでおります。これは、子どもたちが自分自身の将来のライフデザインについて考え、人生をきり拓いていくための一助となるよう、将来設計等をテーマとした「出張授業」「受入授業」を実施するものです。

「出張授業」では、当社職員が講師となり、就業・結婚・育児等、将来迎えるであろうライフイベントを、社会環境の変化や必要資金の視点で解説し、将来設計の大切さを伝えています。「受入授業」では、上記に加えて、来店型店舗ニッセイ・ライフプラザ等の職場見学や、先輩社会人との座談会も行っています。

両取組みは、平成23年度にスタートしました。これまでに46都道府県で開催し、202校・18,127名の生徒が受講しています。

今般の受賞は、これらの取組みが、子どもたちに将来設計について考えるきっかけを与え、社会環境の変化や職業観を意識させるとともに、将来の社会を担っていく自覚につなげるプログラムを実施していることを評価いただいたものです。

また、これらの取組みを広げるために、株式会社JTBコーポレートセールスとの協業により、中学校や高校の修学旅行の中に「受入授業」を組込む、キャリア教育・社会人交流プログラム『丸の内から描く私のみらい』を実施することとなりました。このプログラムは、当社丸の内ビルにおいて、通常の「受入授業」に加え、従業員食堂での当社職員との夕食交流会や、未来の自分へのレター作成等を行うことで、生徒たちが自身の将来や社会で働くことに対し、より具体的にイメージを持つことができる内容となっています。

当社は「次世代支援」を社会貢献活動の一つの柱として、これからも未来を創る子どもたちのための活動を続けてまいります。

《「キャリア教育アワード」の概要》（出典：経済産業省HP）

子どもたちに対し、働くことの意義や学びと実社会とのつながりを伝え、社会的・職業的自立に向けた力を育成する「キャリア教育」の取組を推進する経済産業省が、企業や経済団体による教育支援の取組を奨励・普及するため、平成22年度に創設した表彰制度。

以 上

ご参考

《授賞式の様子》



《授業風景》



出張授業（講義）



受入授業（経営層との座談会）